

そうか 市議会報

年4回 毎定例会後発行

No.166

平成16年2月発行
編集 議会運営委員会
発行 草加市議会
草加市高砂1-1-1
☎048(922)0151 内線5531

http://www.soka-shigikai-unet.ocn.ne.jp

おもな内容

新しい議会人事.....1ページ
市長提出議案の概要.....2ページ
市政に対する一般質問.....2~3ページ
市長提出議案の議決結果.....3ページ
議員提出議案の概要と議決結果...4ページ
請願の審議結果.....4ページ
特別委員長中間報告.....4ページ

12月定例会

草加市部設置条例の一部を改正する条例など 市長提出19議案と議員提出5議案を可決

平成15年12月定例会は、12月4日から12月17日までの14日間にわたって開かれました。4日の開会日冒頭、議長・副議長の辞任に伴う正・副議長の選挙が行われ、新体制のもと市長から提出された18議案及び9月定例会で継続審査となっていた1議案を原案どおり可決・認定・同意しました。議員提出議案は、リサイクルプラザの早期建設を求める決議など7議案が定例会最終日に提出され、5議案を可決しました。市長提出議案に対する質疑では、4人の議員が質疑を行いました。市政に対する一般質問では、11人の議員が3日間にわたって登壇し、諸施策について執行部の方針や見解をそれぞれたてました。



議長に有賀正義議員

副議長に飯田弘之議員



監査委員 小澤敏明



副議長 飯田弘之



議長 有賀正義

《主な経歴》
市議会議員 2期
総務文教委員会委員長
平成14年11月～平成15年12月
一般会計決算特別委員会副委員長
平成11年9月～平成11年12月

《主な経歴》
市議会議員 2期
一般会計決算特別委員会委員長
平成14年12月～平成15年2月
総務文教委員会副委員長
平成10年11月～平成12年12月

《主な経歴》
市議会議員 4期
副議長
平成10年11月～平成11年12月
議会運営委員会委員長
平成9年12月～平成10年11月

12月4日、正・副議長の辞任に伴い行われた選挙で議長に有賀正義議員(公明党、60歳)、副議長に飯田弘之議員(そうか未来、62歳)が選出されました。	のとりです。
今回の議会人事は、斎藤幸子前議長、石村次郎前副議長及び大久保和敏前監査委員から、一身上の都合により辞職したい旨の意向が示され、定例会開会前から各党派交渉会(代表者会議)で協議されましたが、全員一致による指名推選が成立せず、正・副議長については、投票による選挙が行われました。選挙の結果は次	《議長選挙》 投票総数 30票 有効投票 29票 有効投票中、有賀正義議員 25票 大野三ヨ子議員 4票
飯田弘之議員 25票 平野厚子議員 4票	《副議長選挙》 投票総数 30票 有効投票 29票 有効投票中、有賀正義議員 25票 大野三ヨ子議員 4票
監査委員 小澤敏明議員の選任に同意	投票総数 28票 賛成22票、反対6票の賛成多数により、小澤敏明議員(自由市民クラブ、64歳)の選任に同意しました。
監査委員については、投票	議会議長に松井優美子委員 副議長に切敷光雄委員

平成15年12月定例会日程

- 12月4日(木)...開会、正・副議長の選挙、一般会計決算特別委員長報告・討論・採決、市長提出議案の報告及び上程・説明・委員会付託省略(第97号議案)・採決(第97号議案)
- 12月8日(月)...市長提出議案に対する質疑
- 12月9日(火)...市政に対する一般質問
- 12月10日(水)...市政に対する一般質問
- 12月11日(木)...市政に対する一般質問、議案及び請願の各常任委員会付託(第94号から第96号議案は省略)
- 12月12日(金)...常任委員会(総務文教、福祉環境、建設委員会)
- 12月17日(水)...議案及び請願の上程、各常任委員長報告・討論・採決、閉会中の特定事件の委員会付託、議員提出議案の報告及び上程・説明(議第23号及び議第29号議案は省略)・委員会付託省略・討論・採決、みんなでまちづくり条例審査特別委員長中間報告、議員派遣の議決、閉会

票採決の結果、投票総数28票、賛成22票、反対6票の賛成多数により、小澤敏明議員(自由市民クラブ、64歳)の選任に同意しました。

議会議長に松井優美子委員
副議長に切敷光雄委員

12月4日付けで委員の交代があり、小澤敏明委員、宇野博委員、飯田弘之委員が辞任、新たに浅井昌志議員、大久保和敏議員、石村次郎議員が同委員会委員となりました。

12月11日付けで、総務文教委員会の小澤敏明委員が福祉環境委員会へ、福祉環境委員会の石村次郎委員が建設委員会へ、福祉環境委員会の松井優美子委員が総務文教委員会へ、また、建設

12月11日付けで委員の交代があり、有賀正義委員が辞任、新たに宇野博議員が同特別委員会委員となりました。

常任委員会委員の所属変更

みんなでまちづくり条例審査特別委員会委員の変更

12月11日付けで委員の交代があり、有賀正義委員が辞任、新たに宇野博議員が同特別委員会委員となりました。

総務文教委員会
委員長に松井優美子委員
副委員長に切敷光雄委員

常任委員会委員の所属変更に伴い、欠員となった総務文教委員会委員長に松井優美子委員が、また、福祉環境委員会副委員長に切敷光雄委員がそれぞれ就任しました。

市長提出議案

今定例会提出の市長提出議案は、18議案中、人事案件を除く14議案が所管の常任委員会に付託され、審査が行われました。ここに掲載したものは、市長提出議案の主なものについて提案理由の説明をもとに要約したものです。

条例

草加市部設置条例の一部を改正する条例

行政の総合化を推進し、

市民サービスの向上を図るとともに、簡素で効率的な行政体制の整備・確立を目指す、行政組織の見直しを行うものです。
その内容は、条例名を草加市行政組織条例とし、迅

速な行政経営のため、秘書、広報及び広聴、危機管理を行う市長室を新たに設置するとともに、財政経済部を廃止し、同部の事務を総合政策部及び総務部へ移管するものです。
また、市民課を総合窓口と位置づけ、住民異動に伴う一連の手続きが、できるだけ1か所で行えるようワンストップサービスを実施するものです。

この改正により、市長事務部局における組織数は、現行の7部50課から6部42課となり、1部8課を統廃合により減少させるものであります。
施行期日は、平成16年4月1日。ただし、総合窓口部分は平成16年5月6日。

草加市保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例

きたつら保育園の園舎建替工事の完了に伴い、その位置を草加二丁目3番1号に変更し、定員を20人増の130人とするものです。
また、待機児童の解消を

図るため、きたつら保育園の仮設園舎を活用し、新たに第2きたつら保育園として、臨時に1年間設置するものです。
施行期日は、平成16年1月1日。ただし、第2きたつら保育園設置は、平成16年4月1日。

草加市水道事業給水条例の一部を改正する条例

水道の新旧使用者間の負担の公平を保ち、併せて財政基盤の強化を図るため、

量水器口径ごとに定められた加入分担金を改定するものです。
施行期日は、平成16年4月1日。

平成15年度草加市一般会計補正予算(第6号)

4億981万7000円を追加し、予算総額を58億458万2000円とするものです。

歳入は、国庫支出金、県支出金、寄附金及び繰入金の追加を行うものです。
歳出は、国民健康保険特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金及び地方債償還金の追加並びに新田西部土地画整理事業特別会計繰出金の減額を行うものです。

また、債務負担行為の補正は、道路舗装改良事業、排水路整備事業及び草加駅東口再開発事業に係る和解金の設定をそれぞれ行うものです。

教育委員会委員の任命(若林誠満氏)

平成15年12月31日をもって任期満了となる若林誠満氏(長栄町199番地123)を、引き続き教育委員会委員として任命することに同意を求めます。

人権擁護委員の推薦(豊田昭彦氏)

平成16年1月31日をもって任期満了となる豊田昭彦氏(柿木町724番地)を、引き続き人権擁護委員として推薦することに意見を求めるものです。

人事

公平委員会委員の選任(河井孝夫氏)

平成16年1月16日をもって

市政に対する一般質問

ここに掲載したものは、すべての質問の中から1人の議員につき1項目を選び、質問、答弁の要旨を記したものです。

レジ袋削減に向けての市の支援策は

〔質問〕田中議員「過日、スーパー等で使用されているレジ袋の削減に取り組むボランティアの催しに参加し、環境問題におけるレジ袋の影響の大きさを実感し

た。杉並区では、加盟店共通のエコシールをレジ袋辞退の方に差し上げ、25枚で100円の買い物券と交換するシステムを導入している。草加市としても、レジ袋の削減に向けた取り組みが必要と考えるが、①市としてのこれまでの取り組みは、②市の支援により、杉並区において実施されているような加盟店共通方式を導入する考えは、

〔質問〕飯塚議員「乳幼児医療費の助成制度については、県も就学前までの拡大を前向きに検討するという話を聞いているが、草加市において新年度から実施する考えは、

また、子育て中の若い世代からは、所得制限をしないで実施してほしいとの要望が大変多いが、その実現についてはどうか。

この制度については、市長公約の一つでもあることから実現に向けた決意を伺

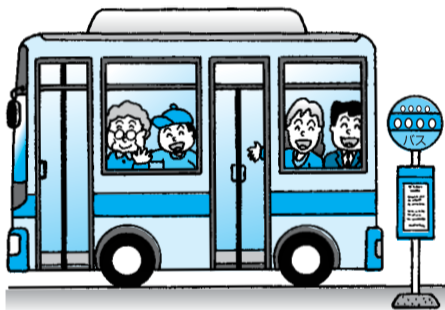
いたい。

〔答弁〕市長「現在、平成16年度予算の編成作業を行っているところであるが、乳幼児医療費の助成を就学前までの拡大ということでは、来年度の実現に向けて進めている。

所得制限については、本来は一定限度、高額所得の方には制限をかけるべきと考える。しかし、事務手続、手数及びコスト等を勘案した場合、実質的に市民の方に一番負担をかけない方法として、現在の検討の中では、所得制限を設けないことではないかというふう

に、現在、草加駅西口と松原団地駅西口を最短で結ぶバス路線を検討しているようだが市内各方面からのバス路線の検討状況は、②高年者には100円のワンコインバスが利用しやすいと考えるがどうか。③高年者や障害者への運賃補助制度を行う考えは、

〔答弁〕宇野議員「市発注工事に関して、①違約金制度を実施する考えは、②暴力団排除に対する考えは、③低価格の入札を繰り返す会社に対し、経営診断を義務づける考えは、④入札書類を郵送する考えは、⑤ISO認証取得業者への優先枠設定の考えは、



エコバック

〔答弁〕市民生活部長「①レジ袋の削減とマイバッグを奨励することを目的にグリーンコンシューマー講座を平成11年度から実施するととも

〔質問〕井出議員「新市立病院開院に当たって市民から寄せられる声には、医療の充実やサービス面はもちろんのこと、病院への足の確保が数多く寄せられてい

る。①現在、草加駅西口と松原団地駅西口を最短で結ぶバス路線を検討しているようだが市内各方面からのバス路線の検討状況は、②高年者には100円のワンコインバスが利用しやすいと考えるがどうか。③高年者や障害者への運賃補助制度を行う考えは、

〔答弁〕市民生活部長「①市内のどこからでも1回の乗り継ぎで済むよう鉄道を軸に既存バス路線との連携

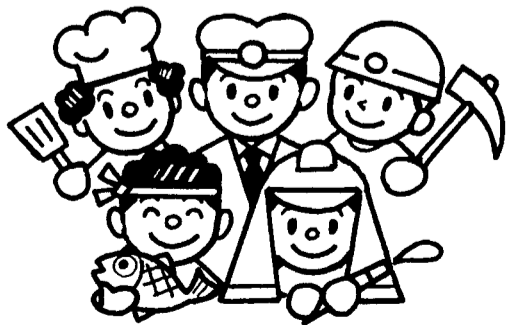
も配慮した路線整備に努めている。計画では草加駅西口と松原団地駅西口を最短で結ぶ路線と草加駅西口から新市立病院、北谷二丁目を経由し安行出羽に至る2路線を予定している。②いずれも最寄りの駅から新市立病院まで170円を予定している。③高年者や障害者から聞き及んでいる。④高年者や障害者に優しいノンステップバスの導入に努めているが、運賃補助については今後の研究課題としたい。

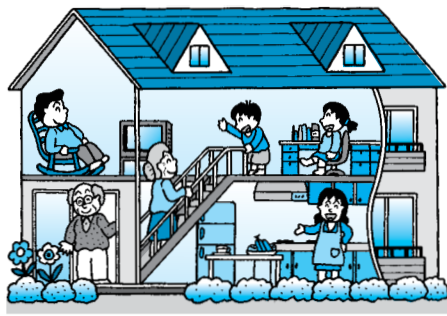
〔質問〕宇野議員「市発注工事に関して、①違約金制度を実施する考えは、②暴力団排除に対する考えは、③低価格の入札を繰り返す会社に対し、経営診断を義務づける考えは、④入札書類を郵送する考えは、⑤ISO認証取得業者への優先枠設定の考えは、

〔質問〕青木議員「長引く不況のもと、若年層の失業率が10%にも達している現状では、若年者に対する求人情報の提供や能力開発、創業支援に関する情報提供、インターンシップ等の職場体験機会の確保、就職支援等の雇用関連サービス等とのことである。

〔答弁〕市民生活部長「埼玉県における若年者ワンストップサービスセンターの設置については、平成16年度開設の予定で検討が進められていると聞き及んでいる。また、現段階での内容としては、若年者に対する求人情報の提供や能力開発、創業支援に関する情報提供、インターンシップ等の職場体験機会の確保、就職支援等の雇用関連サービス等とのことである。

〔答弁〕市民生活部長「埼玉県における若年者ワンストップサービスセンターの設置については、平成16年度開設の予定で検討が進められていると聞き及んでいる。また、現段階での内容としては、若年者に対する求人情報の提供や能力開発、創業支援に関する情報提供、インターンシップ等の職場体験機会の確保、就職支援等の雇用関連サービス等とのことである。





住宅リフォーム制度を創設する考えは

〔質問〕平野議員「住宅リフォームに対する支援制度として、いろいろな融資制度があるが、過去数年間、ほとんど利用者がいない状況にある。①このような状況を受け、制度改善を行う考えは。②産業振興策として、市内に営業所を持つ指名参加業者、小規模工事登録業者が住宅リフォームを受注した場合に限り、補助金を支給する補助制度を創設する考えは。

〔答弁〕都市整備部長「①市中金融機関等における住宅ローンの金利水準が低下していることから、融資制度の利用が減ってきているものと考えている。今後は、融資の条件、募集の時期等を含め、関係機関と協議していきたい。②景気対策の必要性は認識しているが、中小企業の支援策・景気浮揚を目的とした住宅リフォーム補助制度の創設は難しいと考えている。

市長「現制度の活用を図ることが重要で、制度を利用していただけるよう見直す中で、住宅リフォームの需要が起ころうあり方を探していきたい。」

〔質問〕新井議員「市長の政治姿勢として①平成16年度予算編成の考え方は。②事業手法の検討を今までの手法と変えるとは具体的に何か。③成果重視の市政運営とはどのようなものか。

〔答弁〕市長「①長引く景気低迷の影響により市税収入の回復は望めず厳しい状況が予測される中、基本構想で重要施策と位置づけている事業は多岐にわたり多額の財源を必要としている。様々な角度から事業手法を検討し、トータルコストの削減を図り、創意工夫のもと効率的・効果的な事務執行と成果重視の行政運営を行い、納得度の向上を図りたい。②従来の担当課から財政課への予算要求による査定手法から、事業課が主体となって予算をつくり上げる自立型予算編成への転換を図っている。③事業に予算を幾分か、それによってどのようなメリットが生まれ、どのように環境が変化するかなどを捉えながら、より高い目標を持ちいかに達成するかを定めたものを成果重視の

新市立病院開院に向けた職員体制・救急体制は



建設中の新市立病院

市政運営と表現している。

〔質問〕大野議員「平成16年7月から新市立病院が本格稼働するが、①18診療科のうち、入院診療も兼ねている科は何科か。②毎日の診療でなく週何日と限る科目があるのか。③開院後段階的に診察を開始する科目があるのか。④救急外来の

体制はどうなるのか。

〔答弁〕病院事務部長「①入院診療に対応する診療科は、精神科・麻酔科・放射線科を除く15科を予定している。②新市立病院は、増員や常勤化を図り、すべての診療科で第1・3土曜日の開院も含めて外来診療を行う予定である。③開院当初からすべての科で診療を開始したいと考えている。④2次救急医療の基本的な科系・産婦人科・小児科で通年の24時間体制。循環器科は2当直体制及びオンコール。脳神経外科は開院当初は専門医の2当直体制、オンコールの併用とし、看護体制は、救急とICU・CCUを

あわせて1看護単位を取っていきたく考えている。

〔質問〕今村議員「①おむつの無料支給受給者数の推移は。②申請してからおむつが現物支給されるまでの期間は何日くらいか。③おむつの無料制度が4年経ったが、戸田市などと比べると草加市の支給枚数とはかなりの差がある。支給枚数を一律にするのではなく足りない人には増やしていくという見直しができるか。④入院した場合、病院によっては現物支給されても利用できないことがあるが、その場合は現金支給できないか。

〔答弁〕健康福祉部長「①平成11年度191人であったが平成14年度には498人となり平成15年度は630人を見込んでいます。②申請した日の属する月の翌月から1か月分をまとめて支給している。③国基準は、市民税非課税世帯で要介護度4と5の方に限定している。しかし、市では、寝たきりの状況にあることのみを支給対象として実施していることから、支給枚数を増やすことは現時点では考えていない。④他市の状況等を調査し、必要な検討を行っている。

高齢者へのおむつ無料支給制度を充実する考えは

〔質問〕種子島議員「①危機管理に処するための防災備蓄倉庫が学校によっては校舎の2階に設置してあるが、小・中学校における設置場所はどうなるか。②防災備蓄倉庫の設置場所は資機材の持ち運びなど、使い勝手を考慮し体育館の近くにしたい方が多いのではないか。③防災備蓄倉庫のかぎについては、市と学校長が保管していることだが、不測の事態への対応や機械整備となつていない。夜間の対応はどうするの



コンテナ式防災備蓄倉庫

というところで2階の教室を利用したものもあるが、使い勝手・非常時の利用等も考慮し、コンテナ化を図る中で、家庭や体育館付近に極力移動するよう努めたい。③かぎについては学校と市の両方で保管・管理しているが、全校共通化し、使い勝手をよくするよう工夫している。

まう人もいます。注意しても、なんの権限があるのかと言われ、抑止効果が少ない。

そこで、啓蒙啓発の観点から、予防を図ることを目的として、条例に罰則規定を設ける考えはないか。

〔答弁〕市民生活部長「飼い犬の責任として、ふん害防止に関する意識高揚を図り、市民の快適な生活環境の推進に寄与することを目的として、昭和62年9月に制定している。制定後16年を経過する中で、ふん害防止のための啓発看板の配付、広報紙等への掲載、チラシの配布等を行ってきたが、啓発活動だけでは十分ではない状況にある。

〔質問〕吉沢議員「飼い犬のふん害等防止条例が制定されてはいるが、この条例は形骸化している。袋を持って犬の散歩をしているにもかかわらず、誰も見ていないからと、飼い犬のふんを処理せずそのまま行ってしまう。これは、飼い犬のモラルやルールに対する啓発活動を引き続き行うとともに、罰則等の措置も検討していきたい。

市長提出議案の議決結果

議案名	議決結果
第36号議案 草加市みなでまちづくり条例の制定について	継続審査(全員)
第51号議案 平成14年度草加市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)
第80号議案 平成15年度草加市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(多数)
第81号議案 平成15年度草加市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員)
第82号議案 平成15年度草加都市計画新田西部地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員)
第83号議案 平成15年度草加市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員)
第84号議案 平成15年度草加市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員)
第85号議案 草加市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(多数)
第86号議案 児童等災害対策基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員)
第87号議案 草加市保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員)
第88号議案 草加市立児童クラブ設置及び管理条例の制定について	原案可決(全員)
第89号議案 草加市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する制定について	原案可決(多数)
第90号議案 草加市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(多数)
第91号議案 調停の成立について	原案可決(多数)
第92号議案 市道路線の廃止について	原案可決(全員)
第93号議案 市道路線の認定について	原案可決(全員)
第94号議案 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意(全員)
第95号議案 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意(多数)
第96号議案 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
第97号議案 監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意(多数)

臨時会の開催

第2回臨時会が11月25日に開かれ、市長から提出された5議案を原案どおり可決しました。

提出された議案は、長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について①平成15年度草加市一般会計補正予算(第4号)②平成15年度草加市一般会計補正予算(第5号)③特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について④市

ては、公職選挙法の一部改正による期日前投票制度の創設に伴い、草加市特別職報酬等審議会の答申に鑑み、期日前投票所の投票管理者及び投票立会人の費用弁償の額を定める必要を認めました。

主な内容は、条文に期日前投票所投票管理者及び期日前投票所投票立会人を加え、その額を1回の選挙につき、1万8000円、93000円とするものです。

議員提出議案

議員提出議案は、「リサイクルプラザの早期建設を求める決議」など、7議案が提出され、5議案を可決、2議案を否決しました。可決した意見書は、関係行政庁へ送付しました。(意見書等は要旨を掲載)

リサイクルプラザの早期建設を求める決議

従来の大量生産・大量消費の社会から、循環型社会の形成に向けた法律が制定・改正されるなど、大きく社会状況が変化し、家電4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)はリサイクル専門業者による回収となった。また、フリーマ

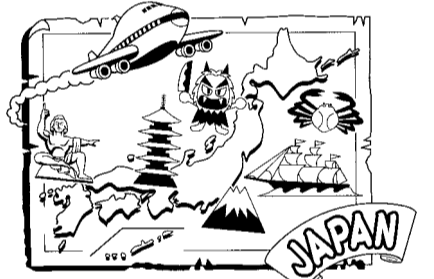


新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書

市の第三次総合振興計画でも、同施設の検討・整備が唱われていることから、建設に向けた準備体制の整備及び建設用地の選定を行い、早期に建設するよう求める。

観光立国へ積極的な施策推進を求める意見書

世界の国々は国際観光に新しい価値と将来性を見出す所としており、景気回復が叫ばれている我が国経済にとつても、観光立国への転換は必須の課題であること



イラク復興支援活動に慎重を期すことを求める意見書

去る12月9日に、政府は自衛隊と文民の派遣に関するイラク復興支援活動の基本計画を発表した。

景気・経済状況の悪化に伴い失業率が依然高い水準で推移している。雇用対策には、抜本的な制度改革、財源確保、労使協力を含めた総合的な推進が必要であることから、政府は次の事項を速やかに実施するよう強く要望する。

①地域実情に即した介護・医療など公的分野での雇用拡大、新産業の育成やNPOなどの振興による雇用創出などを推進する施策の抜本拡充、地方公共団体が職業相談・職業訓練・職業紹介等を一貫した体制で実施し得る支援策の拡充、雇用保険財政の安定化策及び自営業を廃業した人などを対象とする求職者能力開発支援制度の創設、ハローワークなどでの募集・採用における年齢制限の禁止に向けての実効性

問答 中報 みんなでまちづくり条例 審査特別委員会

平成15年3月定例会で設置された同特別委員会が、12月定例会までに11回の委員会を開催しましたが、そのうち第8回委員会までは先の6月定例会及び9月定例会において中間報告が行われているため、今定例会では第9回委員会以降の中間報告を行いました。以下は、中間報告をもとに委員会での主な審査内容を掲載したものです。

第9回(10月28日)

(仮称)草加市パートナーシップまちづくり条例 意見を求めた。 参考人の主な意見 当条例案は、自分のまちの身近な問題について、ど

のような仕組みをつくり、どのような形で明文化すれば解決していくことができるのかを議論し、手作りで作成した。

・みんなでまちづくり条例という名称については、行政側が名称変更の上、市議会に提案したものであり、懇話会としては、あくまでもパートナーシップ条例という位置づけで原案を作成した。

立的な市民の育成を図ることにより、行政との対等な関係をつくり上げ、このことにより行政とのコラボレーション、協働を実現すること

・当条例案は、行政と市民がどのような関係をつくるかというところが基本であり、あくまでパートナーシップでまちをつくるためのよりどころとなるものを、どのように整備していくかについてを議論してきた。

つた結果、理念的な部分をもっと深く議論した方がよいであろうという議論がなされ条例素案の作成に至った。

・当条例案は、行政と市民がどのような関係をつくるかというところが基本であり、あくまでパートナーシップでまちをつくるためのよりどころとなるものを、どのように整備していくかについてを議論してきた。

今後の進め方を協議し草加市みんなでまちづくり条例案は、自治基本条例化へ向けての修正等を行う確認をした。

第12回委員会を1月29日に開催することを決定した。

参考人への主な質疑

・みんなでまちづくり条例を自治基本条例化することについての考えは、

第10回(11月17日) 今後の進め方を協議し草加市みんなでまちづくり条例案は、自治基本条例化へ向けての修正等を行う確認をした。

第11回(12月11日) 第12回委員会を1月29日に開催することを決定した。

請願

12月定例会で採択された請願

- 件名 市町合併に関する議会議員による協議会・研究会等発足についての請願
- 代表者 草加市中央二丁目16 草加商工会議所会館2階 社団法人草加青年会議所 理事長 小瀧和明氏
- 件名 越谷市越ヶ谷本町8 社団法人越谷青年会議所 理事長 吉澤行雄氏
- 件名 八潮市中央二丁目31 立川ビル2F 社団法人八潮青年会議所 理事長 藤波達也氏
- 件名 三郷市花和田650 三郷市商工会館内

12月定例会で採択された請願

- 件名 定期信号設置を求める 請願書
- 代表者 草加市中根一丁目16 新日本婦人の会草加支部 長 伊熊美智子氏ほか90名
- 件名 定期信号設置を求める 請願書
- 代表者 草加市中根一丁目16 新日本婦人の会草加支部 長 伊熊美智子氏ほか90名

9月定例会で採択された請願の処理結果

- 件名 子育て環境の充実と「少人数学級の実現」を求めるための請願書
- 代表者 草加市旭町六丁目13 民主教育をすすめる草加市民会議代表委員 込戸正人氏ほか8258名
- 件名 水路のふた掛けを求める 請願書
- 処理結果 次年度以降整備に努力してまいります。

閉会中の委員会のうごき(平成15年10月~12月)

10月9日	一般会計決算特別委員会
10月10日	一般会計決算特別委員会
10月16日	一般会計決算特別委員会
10月27日	総務文教委員会 議会運営委員会
10月28日	みんなでまちづくり条例審査特別委員会
11月11日	福祉環境委員会
11月11日~13日	総務文教委員会行政視察
11月17日	みんなでまちづくり条例審査特別委員会
11月19日~21日	建設委員会行政視察
11月21日	福祉環境委員会行政視察
11月26日	総務文教委員会 建設委員会
12月3日	議会運営委員会

次の定例会は3月3日水から

問い合わせは議会事務局議事課まで ☎(922)0151 内線5521